

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●藤田菜七子騎手がスペインの騎手招待レースに参加

現地時間9月24日(日)、スペインのサルスエラ競馬場で行われた「セカンド・インターナショナル・チャンピオンシップ・フォー・ジョッキーズ」に、藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)が出場しました。10か国・12名の女性騎手が3レースで成績を競い合い、藤田騎手は4着、11着、7着で計11ポイントを獲得して第8位という成績。31ポイントを獲得したU.ホルムクィスト騎手(スウェーデン)が優勝しています。

●重賞ウイナー6頭の競走馬登録抹消

2019年報知杯弥生賞(GⅡ)の勝ち馬メイショウテンゲン(牡7歳/栗東・松永昌博厩舎/JRA通算27戦2勝)、2020年日経新春杯(GⅡ)の勝ち馬モズベッコ(牡7歳/栗東・森田直行厩舎/JRA通算28戦4勝)、2021年東京中日スポーツ杯武蔵野S(GⅢ)の勝ち馬ソリストサンダー(牡8歳/栗東・高柳大輔厩舎/JRA通算28戦6勝・地方5戦0勝・海外1戦0勝)、2021年七夕賞(GⅢ)の勝ち馬トラスジェミニ(牡7歳/美浦・小松山悟厩舎/JRA通算42戦8勝・地方1戦0勝)、2022年アイビスサマーダッシュ(GⅢ)の勝ち馬ピリーパー(牝8歳/美浦・石毛善彦厩舎/JRA通算48戦5勝)、2021年中日スポーツ賞ファルコンS(GⅢ)の勝ち馬ルークズネスト(牡5歳/美浦・久保田貴士厩舎/JRA通算15戦2勝)は、8月2日(水)までに競走馬登録を抹消されました。ピリーパーは北海道浦河町のミルファームで繁殖馬となり、メイショウテンゲンは中山競馬場、モズベッコは兵庫県南あわじ市のヒイラギステーブル、トラスジェミニはJRA馬事公苑で乗馬となる予定。ソリストサンダーは地方・大井競馬、ルークズネストは地方・浦和競馬に移籍しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ウシュバテソーロが人気に応じて日本テレビ盃(船橋)を貫禄勝ち

日本テレビ盃(JpnⅡ、9月27日、船橋、1800^米)は、3番手から直線に入って間もなく抜け出した単勝1.6倍で断然人気のウシュバテソーロ(川田将雅騎手、牡6歳、父オルフェーヴル)が2馬身半差で完勝。テンカハルが2着に入り、3番人気のセキフウは4着、逃げた2番人気の3歳馬ミトノオーは6着に沈んでいます。

●白山大賞典(金沢)でウィルソンテソーロがJpnⅢ3連勝

白山大賞典(JpnⅢ、9月26日、金沢、2100^米)は、5番手から差を詰めたウィルソンテソーロ(川田将雅騎手、牡4歳、父キタサンブラック)が、逃げ粘る3番人気のメイショウフンジン直線半ばで捉え、単勝1.2倍の支持に応えました。ペイシャエスが3着、2番人気のケイアイパールは4着、ゴライコウは7着でした。

●サラブレッド大賞典はダイヤモンドライン【各地の主要3歳重賞】

サラブレッド大賞典(9月3日、金沢、2000^米)は、2番人気のダイヤモンドライン(牝、父レインボーライン)が5番手から向正面半ばで先頭に立ち、4馬身差の楽勝を収めています。

●ケイアイドリーらが出走、10月4日の東京盃(大井)

東京盃(JpnⅡ、10月4日、大井、1200^米)は、距離得意のケイアイドリーとリュウノユキナが双壁、ドンフランキー、オマツリオトコ、ヘリオス、ギシギシ(大井)までが争覇圏内と考えられます。

●10月5日のレディスプレリュード(大井)はグランブリッジが有力

レディスプレリュード(JpnⅡ、10月5日、大井、1800^米)は、重賞4勝馬グランブリッジが中心、以下ヴァレーデラルナ、テリオスベル、スピーディキック(浦和)、ライオットガール、アーテルアストレアの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ペンシルベニアダービー～サウジクラウンが逃げ切る

現地9月23日にアメリカ・ペンシルベニア州のパークスレーシング競馬場で行われたG1ペンシルベニアダービー(3歳、ダート1800^米)は、ハリケーンの影響で不良馬場での開催。F.ジェルー騎手が手綱を取ったサウジクラウン(牡3歳、父オールウェイズドリーミング、B.コックス厩舎)がスタートから先手を奪うと、猛追したG2ウッドメモリアルS3着馬ドリームライクに半馬身差をつけて逃げ切りました。サウジクラウンは今年4月のデビューから2連勝。しかしその後はG3ドワイヤーSがハナ差の2着、G2ジムダンディSも昨年の米最優秀2歳牡馬フォルテのハナ差2着とともに惜敗していました。

●G1ゴールデンローズS～ミリタライズがG1・3勝目

9月23日にオーストラリア・ニューサウスウェールズ州のローズヒルガーデンズ競馬場で行われたG1ゴールデンローズS(3歳、芝1400^米)は、J.モレイラ騎手を背にしたミリタライズ(牡3歳、父ダンディール、C.ウォラー厩舎)が、粘るG3ミンダイナスティHの勝ち馬エンキャップをゴール前で差し切って優勝しました。ミリタライズは2歳時のATCサイヤーズプロデュースS(芝1400^米)と豪シャンパンS(芝1600^米)に続くG1・3勝目です。